

経 営 理 念



南薩食鳥株式会社
農事組合法人エヌチキン

企業が成功するためには、

その基礎に

健全な理念がなければならない。

我が社の社員は、全ての判断基準を

この理念に求め

意志決定や行動する際には、

この理念に従わなければならない。

経 営 理 念

『喜びづくり』

私達の会社は、「喜び」をつくりだすことを経営の目的の基本と考える。

一人一人が「喜びづくり」を使命ととらえ、その目的を達成することに喜びを感じるとともに、感謝の心を持ち、日々学び努力し成長することを決して忘れてはならない。

お客様やお取引先は勿論のこと、社内の一人一人や地域社会の皆様に「喜び」を与えられる人間性や能力を身に付けたとき、我が社は理想の職場になり更に繁栄していくのである。

「喜びづくり」の心が、一人一人の人生や家庭そして我が社及び社会の発展の源泉になるのである。

喜びづくりの精神をもって、我が社の経営理念とする。

経営ビジョン

『幸福の創造』

「人は皆、幸福でなければならない」これは我が社の基本的な考え方です。

その為にも、我が社の社員は人の幸せに喜んで貢献できる人間性を身に付けなければなりません。

損得や好き嫌いの判断基準では、人に貢献することは出来ないのです。そして何よりも進んで周りに貢献出来る人達こそが、最も早く大きな幸福を受け取ることが出来るのです。

私達は仕事を通して、自分自身及び自分の周りに幸福を創り出していき、我が社の経営ビジョンは「幸福創造企業」になることです。

目的及び使命

1. 『食文化の向上及び活性化』

私達は、誰もが幸せになる為に生まれて来ました。

しかしながら、日々の生活や仕事、人生そのものに価値を見出すことが出来ずに不幸な人生を送っている人は沢山います。

私達は、「食文化の向上及び活性化」を業とし、その事業を通して私達と関わる全ての人に『仕事の喜び』『生きる喜び』『人生の喜び』を表現していきます。

この喜びの心が社会に広がったとき、私達人間は真の幸せを感じ受け取ることが出来る環境を手に入れたと言えるのです。

人間の喜びには各種各様のものが有りますが、その喜びを受け取っていく為にも健全な肉体と健全な精神が必要となります。

先ず私達人間は、生きていく為に食事を取らなければなりません
が、だからといって生命維持の為だけの食事では、あまりにも空しくそこには心の満足や喜びは生まれてきませんし交流も有りません。

政治や仕事や親睦、人間関係におけるコミュニケーションを深め

てくれるのは食事であり、その効果効能は絶大であると言わざるを得ないでしょう。

毎日欠かさず取る食事、この「**食の喜び**」も大きな喜びの一つであり、その食文化の向上と活性化に寄与するということは、毎日取る食事に豊かさを与えると共に、感動や満足そして経営理念である「**喜びづくり**」そのものであります。

更にお取引先に於いては、安定した仕入や新たな商品開発並びに徹底した品質管理を行うことによって、安心で安全な高付加価値商品を創りだし、業界の活性化に貢献していきます。

我が社が無ければ、困る！！

我が社に出会えて、良かった！！

と言われるように日々進化を積み重ね、最高の商品や情報を提供し「食文化の向上と活性化」に貢献していくことを目的及び使命とします。

2. 『種鶏・成鶏の付加価値の創造』

種鶏・成鶏は二度も我々人間社会の役に立ってくれています。

一度目はブロイラーを送り出し卵を生産して社会に貢献してくれています。そして二度目の貢献は、自らの命を捧げて私達人間社会に喜びを与えてくれています。

それに比べて我々人間はどれだけ社会の役に立っているのでしょうか・・・

その自らの命を捧げる二度目の貢献に対して、付加価値を高めて社会に送り出してやることこそ、私達が出来るせめてもの恩返しではないでしょうか。多くの人はいった有り難い鶏が存在することを知りませんし、又その美味しさを味わったことがある人も極めて少ないのです。

従って種鶏・成鶏の特性を活かし付加価値を高めること、そしてこの有り難さや素晴らしさを多くの人に伝えていくことこそ、社会に対する貢献であり、私達が特に心に刻み込んでおかなければならない、我が社の目的及び使命であります。

教 育 理 念

我が社に勤務する者は、経営理念である「喜びづくり」を実現する為に、健全な価値観を共有すると共に自己の成長発展に努力し続ける人間性を有しなければなりません。

※健全な価値観とは、自分だけではなくお客様や周りの人々にも共に良く、又我が社だけではなくお取引先や社会にも認められ賛同して頂ける判断基準、価値基準のことである。

1. 仕事に対する考え方（仕事観）

仕事とは何か？ 一言で言えば『人の役に立つことです』

私達は生きている限り多くの人々のお世話に成っています。そのことに対して何らかの形で恩返しをしていくこと。つまり仕事とは『自分が社会から受けている様々な恩恵の見返りとして、誰か他の人の役に立つこと』なのです。

又、仕事は私達人間が成長していくためには必要不可欠なもので

あり、職場は人間形成の道場とも言えます。

更には、私達は仕事を通して満足感や達成感、又生き甲斐や喜びを創り出していきます。

仕事をしたくても出来ない人が多くいる中、仕事出来る事自体に感謝の念を強く持つと共に全力で仕事に邁進する。

これが我が社の仕事に対する考え方です。

2. 人生に対する考え方（人生観）

『この世に生を得るは、事を成すに有り』これは坂本龍馬の言葉ですが、正しく私達は今の時代を更により良くし後世につなぐために生まれて来ました。意味も無く生まれてきた人は一人としていないのです。しかしながら意味の無い生き方をしている人がどれだけいるのでしょうか。

人生80年とするなら、志を持ち、人の役に立つ為に一所懸命に生きて80年は80年！！ さりとて何もすることも無く、遊びほうけて怠惰な日々を過ごしたとしても80年は80年！！

同じ80年なら貴方はどちらの人生を創りますか！！

私達の人生は一度しか有りません。正に二度とない人生だからこそ一所懸命に生きなければならないのです。

勿論長い人生には楽しいことばかりでは有りません。辛いことや苦しいことも数多くやってくるでしょう。しかし「**苦しみの木にし**か、**楽しみの実はない**」と申します。苦しみが大きければ大きいほど、受け取る喜びも大きなものになるのです。

ですから、苦しみからは逃げることなく淡々と甘受していこう。又喜びは大きく体受していきましょう。

二度とない人生だからこそ、力一杯に生きなければならないのです。

これが我が社の人生に対する考え方です。

3. 人間に対する考え方（人間観）

人間である以上どんな人でも、嫌われたいとか嫌われても良いと思う人は一人としていません。むしろ全ての人から好かれたいし、仲良くしたいとも願っています。

ところが自分はどうかという**「あの人、イヤッ」「この人、キラ**イ**ッ」**というように好き嫌いをします。何故でしょうか？

これは理屈に合わない話です。ということは人間関係がうまくいくかどうかは、全て自分自身の問題であるということです。

人間は皆、自分と同じように認められたいし愛されたいのです。

しかしながら自分が求めるようには、愛してもらえませんが、自分が望むようには、認めてはもらえません。そういった意味では、人間というのは「満たしきれない心を抱えて生きる、心寂しき存在である」ということが言えます。

だからこそ、もっともっと人を愛し、認めてあげなければいけないのです。

全ての人が、自分と同じように必要とされたいと願い、認められ愛されたいと願う。又、人は幸福でありたいと願うのである。

これが我が社の人に対する考え方です。

人 事 理 念

我が社では、礼節を守り、明るく、素直で、謙虚な人、そして何事にも感謝の心を持ち、仕事に対して常に積極的に本気で挑戦し続ける人を評価します。

※ 礼節とは

礼儀、礼節のことであり相手に対する行動・態度・表情・言葉による敬意の表し方及び適度な振る舞いのことです。

私達の人生が楽しく幸福なものになるかどうかは、ほぼ人間関係で決まってきます。その人間関係の潤滑油になるのが礼儀・礼節であります。

礼儀を弁えず、礼節を守れない人はこの潤滑油が不足しますので人との間に摩擦を起こしトラブルを発生させ不幸な人生を創ります。

しかしこの礼儀・礼節を弁えている人は上司や部下や同僚達と良い人間関係をつくる事が出来るので、お互いに援助や協力をする事が出来、楽しい職場・幸福な人生を創ることが出来ます。

又お客様や、お取引先の方々に対しての礼儀・礼節は特に重要であり、我が社の企業イメージが正しくご理解いただけるかどうかは、この礼節にあると言っても過言ではありません。

従ってこの事に関しては常日頃より心に止め、万が一にも失礼の無きよう心のこもった対応に努めなければなりません。

この礼節を守ることは人間としての第一歩であり、社会人としては誰もが心得なければならぬ根幹であります。

よって我が社では、この礼節を守ることを最も重要な事と捉え位置付けます。

※ 明るい人とは・・・

前向きな心を持っている人です。

仕事をする上でうまくいかなかったり、上司に叱られたり、失敗したりと、気分が滅入るようなことも一杯あります。しかし前向きな人はそのことを反省の材料として、今度こそ成功させようと努力します。失敗して悔やんでいても事は進みません。問題が起きて悩んでいても解決はされないのです。

前向きな人はその事を素直に受け止めチャレンジ出来る人なので

す。又、文字通り表情が明るく、常に素敵な笑顔で人に接し、人の心を爽やかにできる人なのです。

※ 素直な人とは・・・

職場の発展や自分自身の成長に意欲や向上心を持ち、物事を肯定的に受け止めることができる人です。

私達とはかく自分と考え方の違う人は、遠ざけたり排除しがちですが、それでは本当の発展も成長もありません。

しかしながら人間は皆、人と仲良くやっていきたいという協調性や、自分をもっと成長させたいという向上心、職場を良くしたいという意欲も持っています。素直になればそのことが良く観えるはず
です。

素直な人は、自分と考え方が違う人でも受け容れます。だから良い人間関係をつくっていけますし、問題やトラブルが発生してもそのことを肯定的に捉え本質を観て解決していくことができます。

又、素直な人は、人の心まで素直で温かい心にする
ことができる人なのです。

※ 謙虚な人とは・・・・・・・・

自分の至らなさを自覚し、控え目ながらも自信に裏付けられた真の強さを持っている人です。

私達人間は不完全な生き物です。この不完全性を自覚すればする程、傲慢になることなど到底できません。むしろ謙虚にならざるを得ないのである。

しかし、この本当の謙虚さというのは、仕事や勉強を一所懸命にして何らかの技術や能力を体得した自信のある人でない限り、手にすることはできないのです。自信のない人が一見謙虚に見えるのは、それはただ単なる自己卑下であって謙虚とは程遠いものなのです。

本当の謙虚さとは、自信に裏付けられたものなのです。

※ 感謝する心とは・・・・・・・・

単に人や物事に対して、有り難いという気持ちだけではありません。

人としてやるべきことを尽くしているという自分の心の満足感が、周りに対して有り難いという気持ちとなって表われるものです。

ですから、そこそこの努力や頑張り、中途半端な生き方からは決して生まれるものではないのです。

『人事を尽くして、天命を待つ』という言葉がありますが、正に自分は人間として「これ以上は、出来ない！！」と言い切れる程、やってやってやり通した時、そのやり通した心の満足感から「自分がこんなに頑張れたのも多くの人々のお陰だ、有り難いな！！」と感謝の念となって心の奥底から湧き出てくるものなのです。

この感謝の念の深い人は、お世話に成ったから感謝するというだけではなくて、たとえ苦い思いをさせられた人に対してでも、有り難いという気持ちを持てる人なのです。

※ 積極的な人とは・・・

人の嫌がることでも、或いはやったことがないことでも率先してチャレンジする人です。又、会議等においても建設的な意見や役に立つことをどしどし発言します。

人間関係においても、自分から進んで関わっていき良い人間関係を築きます。つまり、積極的な人とはどんな事に対してでも自発的に取り組んでいく人なのです。

※ 本気の人とは・・・・・・・・

まずは自分でヤル！！と決断することができ、その決めた事柄を楽しみながら、目的を達成する迄やり続けることが出来る人です。

目標を達成する為には、辛いことや苦しいことも一杯やってきます。しかし、本気の人を決して諦めません。どんなに困難な事に対しても、やり通して成果を創る人なのです。

※ 挑戦とは・・・・・・・・

不可能を可能にしていく戦いである。

企業の発展は社員の成長に他なりません。成長なくして発展なしです。その成長を遂げるためには、やったことがないことでも挑戦するというこの精神は必要不可欠です。

挑戦とは、どんなに難しく不可能と言われることに対しても挑み続けることを言うのです。

行 動 指 針

1. 私は今日一日、仕事を大切に行動します。

私達は、仕事を通して知識や技術や能力を身につけ、お客様やお取引先、そして仲間達との関わりを通して人間的にも成長していきます。自分の価値を仕事という形で表現しながら自己実現していくのです。

仕事を大切にすることは、自分自身の存在価値を100%仕事の中で表現し、昨日より今日、今日より明日へと未来に向かって少しでも成長するということであり、又その仕事に対して誇りを持っているということです。

2. 私は今日一日、お客様を大切に行動します。

私達は、お客様やお取引先の方々のお陰で仕事ができ、生きていくことができます。このことが根本です。このことを常に肝に命じて全てに感謝の心で接する。どうすればお客様に喜んで戴けるのか、その為に自分は今何が出来るのか、この考え方が原点であり行動の基本です。

お客様を大切にすることは、お客様やお取引先の方々に対する感謝の気持ちを持って、心から喜んで戴けるような仕事の仕方をすることです。

3. 私は今日一日、仲間を大切に行動します。

私達は一人では生きていけません。仕事も一人だけでは成り立ちませんし、又一人で創り出される成果は高が知れています。大きな成果や成功は、多くの人々の協力なしには得ることは出来ないのです。ましてやその協力者の中でも同じ目的に向かって働いている仲間の援助は必要不可欠であり最も大きなものです。

仲間を大切にすることは、仲間を信頼し感謝の気持ちを持ってお互い援助協力し合うことです。又自分自身を信じ認めることです。

4. 私は今日一日、常にチャレンジ精神で行動します。

人が成長するためには、やったことがないことにも具体的に挑戦しなければなりません。出来ないことがいつまでも出来ないようでは成長したとはいえないのです。

売上が上がらない営業スタッフが上がるようになった。1時間以上掛かっていた仕事が1時間以内に出来るようになった。

つまり成長とは、今まで出来なかったことが出来るようになること、不可能を可能にするということです。そのためには、目標を持ち具体的に挑戦しなければならないのです。

しかし、やったことがないことや困難なことに挑戦しようとしたとき、人

は恐れや不安を抱きます。

チャレンジ精神とは、恐れや不安な気持ちを抱きながらも、勇気を持って困難に挑み続ける前向きな姿勢を言うのです。

5. 私は今日一日、礼節を守り、明るく、楽しく、生き生きと仕事に一所懸命取り組むことを誓います。

社風の良い会社というのは、礼儀礼節など躰が行き届いています。

又明るく楽しい職場というのは、積極的に肯定的なコミュニケーションが図られています。そして各自が仕事に対する目標を明確に持っている、生き生きとした仕事振りになりますし、何よりも一所懸命に打ち込みます。

どんなに困難な仕事でも、命懸けでやったら出来ないことはないのです。 「一つ所に命を懸ける！」

これが正しく、一所懸命！！

私達はこの気概で取り組みます。

6. 私は今日一日、自己の責任・義務・権限を明確にし、その責任・義務・権限を果たすことを誓います。

どんな仕事にも目的があります。又各部署にはそれぞれ部署の目的

があります。その目的が分からない限り仕事の喜びは生まれて来ません。ですからまずは部署及び仕事の目的を理解することです。その目的が分かれば、自ずと果たすべき自己の責任及び義務が明確になってくるのです。

その責任及び義務とは、与えられた役割を100%果たして成果を創り出すことです。ですから幹部の責任及び義務とは、社長を補佐しここで働く社員がより多くの能力を発揮して成果を創り出すよう指示・指導・育成することです。そして社員の責任・義務とは、与えられた仕事の役割を自覚して会社の立てた目標・方針に本気で取り組み、自分に期待された成果を創り出すことです。

従って、誰であろうと成果のないところに責任や義務の達成はあり得ないということです。又、権限とは、唯単に与えられた職制や地位から生まれるものではありません。権限とは、責任と義務を果たした人間にのみ贈られる称号であり、正に与えられるのではなく積極的に掴み取るものなのです。

7. 私は今日一日、仕事に創意と工夫を行い、職場の成長・発展に貢献します。

『知恵なき努力は、牛馬の努力』これは王子製紙の創業者・藤

原銀次郎氏の言葉ですが、ただ一所懸命に仕事をするのと、どうやったらもっと生産性が上がるだろうか、どうすればもっと良い製品が創れるだろうか、頭を働かせて知恵を使って仕事をするのでは、次元が違ふということ。

ですから常に創意工夫を行っている職場とそうでない職場とは、大きな開きがあるのです。

しかし、常に創意工夫を行うためには、私達自身が問題意識や目標を持つこと、そして学ぶことがとても大切になります。

私達が日々学び成長し続けることは、それはそのまま会社の発展につながって行くことなのです。

8. 私は今日一日、主体的に意志決定し自分原因論で結果に対して責任を執ります。

仕事がうまくいったりいかなかったり、人間関係がうまくいったりいかなかったりと、様々なことが起こります。しかし、その原因は一体誰にあるのでしょうか？ それは相手にあると思った瞬間、改善・改革や問題解決の道は閉ざされ、上司が悪い、部下が悪いと愚痴や不平・不満・言い訳を言う、即ち他人原因論で被害者の人生を歩いていくことになるのです。

しかし、その原因は自分にあると自分原因論の位置に立つと「こうすれば良かったのではないか」「あんなふうにやってみるとどうだろうか」と改善・改革や問題解決の道が開けてくるのです。

そのためには先ず主体的に意志決定をするということが必要になります。自分で意志決定できない依存性の強い人は、「決めさせられた」或いは「やらされている」という被害者意識を持ち言い訳を言うのです。

自分で意志決定できる人は、必ず結果に対する責任という自覚を持ちます。ですから「全ては自分が創りだしているんだ!」という意識で、都合の良し悪しに関わらず受け容れて成果を導けるのです。
責任者とは、自分原因論で生き抜く人なのです。

9. 私は今日一日、我が社の代表の一人としての自覚を持ち、企業イメージの向上に努めます。

我が社の企業イメージが、社会から良い評価を戴けるかどうかは、我が社の発展のみならず存亡そのものにも影響を与える重要な事柄なのです。

全員がこのことを認識し企業イメージの向上に努めなければなりません。そのためには一人一人が会社の代表としての自覚を持つことが大

切です。『我が社に我あり・我を置いて我が社なし！！』

私達は、この心意気で取り組んでいきます。

社長だけではなく、私達こそが我が社の代表なのです。

10. 私は今日一日、我が社の経営理念・目的・使命を確認し、自らがその実践者たらんことを誓います。

我が社は、我が社の目的・使命を果たし、経営理念を実現するところに、社会における存在価値があるのです。

ですから私達一人一人は、その経営理念及び目的・使命を誰よりも忠実に実践する人間でなければなりません。

私達はこのことを通して、社会に貢献し、社会から必要とされ、更に発展すると共に、自分自身の幸福を創り出していくのです。

私達は、我が社の社員であることに誇りを抱き、崇高な理想の実現に向かって実践していきます。

経営の心得

1. 商いを行うことは、公事であって私事ではない。因って商いの精神を全うしその道を極めることは、社会に尽くすことと全く同じである。従って経営は常に公の心を持って行い、僅かと雖も私心を挟むことが無きよう心掛けねばならない。
2. 経営に当たっては、法及びその精神を遵守すると共に、公明正大なる企業活動を通じて、社会から信頼される企業市民を目指さなければならない。
3. 安心で安全なる商品の提供が第一義であり、他の如何なるものと雖も、決してこれを上回ることがあってはならない。
4. 我が社が行う企業活動は、全て経営理念から発するものであって、如何に利益が見込めると雖も、この精神に合致せざるときは、断じてその事業を行ってはならない。
5. 企業経営の命題は持続性であり、その目的は顧客の創造と維持に他ならない。従ってその為には顧客満足の追求以外に道はなく、因って我が社は、如何なるときも感謝報恩の

心を持ち、お客様中心主義に徹した考え方で経営活動を行うものとする。

6. 顧客満足の追及は第一義なれど、社員満足無くして顧客満足は無いものと知れ。又企業発展の礎は全て和親一致の精神からもたらされるものであり、その為にも相互信頼・融和協調を基本に、個人の創造力と組織の強味を最大限に高め、活かし得る企業風土を創らなければならない。
7. 経済は生き物であり、我が社を取り巻く経営環境も刻一刻と変化していく。又時代の流れと共に、顧客の要望や欲求も多様化し又変化する。その変化に対応していくためには、柔軟な発想とスピードが必要であり、場合によっては『朝令暮改』も辞さずである。因って新たな発想等により経営活動を変化させるのはとても重要なことではあるが、しかしながら経営活動の根底には『不易流行』の基本があることを決して忘れてはならない。

経 営 目 標

1. 種鶏・成鶏の取扱量、日本一を目指します。
2. 付加価値の高い商品開発、並びに新たな販売網の構築を行い、粗利益率業界 NO 1 を目指します。
3. 地域の皆様から愛され親しまれる、好感度 NO 1 企業を目指します。
4. お客様のために、絶えず進化する企業を目指します。

社長のミッションステートメント

1. 社員の皆さんの物心両面にわたる豊かさの実現を目指します。
2. 無借金経営を目指し、経営基盤の確立と経営の安定化をはかります。
3. 安定仕入・生産性の向上・商品開発・販売網の構築を行い、お客様への奉仕並びに業界の活性化に殉じます。
4. 皆さんに尊敬される人間像を目指します。
5. 社員の皆さんから「我が社で働けて良かった！」と心から言って戴ける状況を創り出すことに、人生を懸けます。

行動スローガン

実践実践又実践・挑戦挑戦又挑戦

修練修練又修練

やってやれないことはない

やらずにできるわけではない

今やらずしていつできる

俺がやらねば誰がやる

やってやってやり通せ！！